

つながろう木曾×EVI お買い物で災害復興支援!



日時:2014.12.26~31:大丸松坂屋 豊田店1F 食料品売り場 (協力、報告:エバイス杉浦氏)

2014年9月、長野県木曾郡の御嶽山が噴火し大勢の犠牲者を出す未曾有の災害がおきました。木曾町を含む木曾郡は、この年の夏にも水害に見舞われ産業や観光に大きな痛手を受けました。しかしながら、水害地域は復興し、噴火による危険区域は御嶽山噴火口付近の半径4キロ四方であり、日本四大関所である福島宿や木曾駒高原は災害の後遺症も無く、冬は素晴らしい雪景色の観光地のままです。

水害や噴火で観光客の離れたこの地域の良さを再度都市部にPRすべく、「つながろう木曾」のスローガンの元、木曾の物産である蕎麦を年越しの時期に大手百貨店で販売して木曾のPRをすると同時に、販売する蕎麦二種類とそばつゆを、今回EVIのプラットフォームを使いカーボンオフセットすることにより長野の森を守る商品といたしました。(木曾町は2015年8月にクレジットの発行を申請しております。)木曾開田高原の蕎麦の知名度は尾張三河地区では有名で販売数は当初予定数より上回りました。

松坂屋の顧客の方々には木曾の現状を知っていただけただけでなく、EVIのシールを貼る事によってカーボンオフセットへの興味や関心をも持っていただけた事ができました。この取り組みは2015年も木曾川の上下流交流の一環として、都市部で展開していきます。

